



第23回GICセミナー

「社会・産業を変える
オープンイノベーションを目指して」

日時：2022年1月14日（金）13：00～17：00
場所：九州大学グローバルイノベーションセンター

プログラム

13：00～	挨拶	福田 晋 グローバルイノベーションセンター センター長	
13：05～	講演	小池 章夫 氏 AGC株式会社 技術本部材料融合研究所無機材料部 部長	現代生活を支える高強度ガラス
13：40～			質 疑
13：50～	講演	西山 彰 氏 キオクシア株式会社 メモリ技術研究所 フェロー	IoT・AI社会を大きく支える半導体不揮発メモリ
14：25～			質 疑
14：35～			休 憩
14：45～	講演	木村 雅之 氏 元 次世代化学材料評価技術研究組合 主席研究員	視覚情報の伝達による認知機能向上のためのセラピーシステム
15：20～			質 疑
15：30～	講演	村 文夫 氏 DC Power Vil. 株式会社 代表取締役社長	再生可能エネルギーと直流マイクログリッド
16：05～			質 疑
16：15～			休 憩
16：25～			パネルディスカッション
16：55～	挨拶	古川 勝彦 グローバルイノベーションセンター 副センター長	
17：00			終了予定

世話人：九州大学グローバルイノベーションセンター 教授
藤野 茂（小池 章夫 氏）、吾郷 浩樹（西山 彰 氏）、服部 励治（木村 雅之 氏）、原田 裕一（村 文夫 氏）



福田 晋

グローバルイノベーションセンター センター長

九州大学 理事・副学長
(財務、キャンパス整備・管理、産学官・社会連携、知的財産担当)
2021年4月 グローバルイノベーションセンター センター長就任。



小池 章夫 氏

九州大学グローバルイノベーションセンター客員教授、
AGC株式会社 技術本部材料融合研究所無機材料部 部長

現代生活を支える高強度ガラス

ガラスは昔から壊れやすいものの典型として扱われているが、実際は高層ビルの窓ガラスに使われるなど、十分な強度を担保することで現代生活において幅広く用いられている。割れないだけでなく、割れた際の安全性にも配慮しており、また自動車用途では、割れることによって衝突時のダメージを軽減する安全規格も存在している。ガラスが割れるメカニズムについて説明し、ガラス強度を向上させる技術や割れ方を制御する技術について述べる。また、実際にそれらのガラスが活用されている事例や最新の研究開発例について紹介する。



西山 彰 氏

九州大学グローバルイノベーションセンター客員教授、
キオクシア株式会社 メモリ技術研究所 フェロー

IoT・AI社会を大きく支える半導体不揮発メモリ

電子機器のみならず社会全体にとって半導体が無くてはならないモノであることが改めて認識されてきている。半導体メモリも世界的に大きな市場を形成しており、さらにその発展が期待されている。NANDフラッシュメモリやクロスポイントメモリに代表される様々な半導体不揮発メモリについて最新の動向を示すとともに、2次元材料のメモリ応用への期待についても紹介する。



木村 雅之 氏

九州大学グローバルイノベーションセンター客員教授、
元 次世代化学材料評価技術研究組合 主席研究員

視覚情報の伝達による認知機能向上のためのセラピーシステム

世界が現在直面している感染抑制社会や災害避難時においては、閉鎖的な知覚環境によりストレスが増すことによる心理や認知機能への影響を緩和するケアが強く求められる。本講演では、生体センシングと連携した視覚情報を伝達するシステムにより、認知機能を改善するセラピーシステムの心理物理的アプローチの研究を紹介する。同研究は、認知機能の改善による人々のレジレンス強化等、メンタルヘルスへの貢献を目指す。



村 文夫 氏

九州大学グローバルイノベーションセンター客員准教授、
DC Power VII.株式会社 代表取締役社長

再生可能エネルギーと直流マイクログリッド

我が国の温室効果ガスの削減目標が2030年に2013年比46%、2050年に実質ゼロが示された。その目標達成のためには、再生可能エネルギーを化石燃料よりも優先的に利用する仕組みを地域分散させて導入させる必要がある。エネルギーロスを徹底的に削減し、災害時にも自立利用できるレジリエントで信頼性の高いインフラを街づくりに組み込むことが重要である。本講演では、これらを実現可能にできる直流マイクログリッドについて紹介する。



古川 勝彦

グローバルイノベーションセンター 副センター長

九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
2021年4月 グローバルイノベーションセンター 副センター長就任。